電子カルテ被害対策提案

エヌ・エス・エム

バックアップ商品の販売強化

医療ソリューション事業などを手掛けるエヌ・エス・エム（略称＝NSM、本社大垣市今宿6の52の18、青山尚憲（なおのり）社長、電話0584・77・3121）は、電子カルテのデータを保存するバックアップシステムの販売を強化している。近年増加する医療機関のランサムウエア（身代金要求型ウイルス）被害の対策として提案する。中・大規模の医療機関を中心に、向こう3年で30施設へ導入を目指す。（岐阜・武居皇弥）

青山尚憲社長

3年で30施設導入目指す

販売を強化している電子カルテバックアップシステム「カルテキューブ」は、ランサムウエアなどのウイルス感染や停電、自然災害時の診療継続をサポートする商品。電子カルテなどのデータを画像データ（PDFファイル）でオフライン上にバックアップするため、非常時にも端末からデータを閲覧することができ、診療を継続することができる。

同商品は10年ほど前に、災害時の診療継続を目的に浜松医科大学と共同で開発した。近年、ランサムウエア被害は増加傾向にあり、全国で月に数件ほど発生しているという。こうした状況を改善するため、バックアップデータを7日間単位で分けて保存するなどのランサムウエア対策に特化した機能を追加して提案を強化している。

導入にかかる費用は中・大規模医療機関向けで500万円から。閲覧する端末や患者数などによって価格は異なる。今後、小規模のクリニック向けにも対応予定で、価格は10分の1程度に抑えて提供する方針だ。

青山社長は「医療機関がランサムウエア被害にあった場合、患者の情報などが閲覧できず、診療を続けることができなくなる。対策を検討する際は、相談いただきたい」と話している。

同社は1996年の創業。紙のカルテを画像や文字データとして電子化するサービスなどを手掛けている。

名馬オグリ カップ酒に

海津の酒店「浪漫亭」

お酒でオグリキャップの魅力を伝えたい―。海津市の酒店「浪漫亭」が、名馬にちなんだカップ酒「オグリカップ」を販売している。2015年に亡くなった元馬主と親交があった社長舘徹さん(62)が、元馬主との生前の約束を果たした。

オグリキャップは1987年、笠松競馬場（岐阜県）でデビュー。中央競馬に移った後、重賞を次々と制覇し通算32戦22勝の成績を残した。競走馬引退後の2010年、放牧中の事故の影響で死んだ。

カップ酒「オグリカップ」を手にする酒店「浪漫亭」社長の舘徹さん＝海津市

元馬主小栗孝一さんと30年来の友人だった舘さん。一緒にお酒を飲みながら大好きな馬の話に花を咲かせた。約10年前、手に持ちやすいサイズが競馬場の土産に合うとカップ酒を思いつき、小栗さんに提案。「歓迎。どんどんやってくれ」と笑顔を見せていたという。

小栗さんの死後、カップ酒の実現に本腰を入れた。「世代を超え多くの人を引きつけた力強いレース展開」をイメージし、飲み飽きない余韻が続く酒を探し続けた。たどり着いたのは宮城県大崎市の新沢醸造店。「妥協せず最高の質のカップ酒にしたい」と約1年かけ開発し、命日の10月8日、発売にこぎつけた。

カップにはポップなイラストを採用。飲み終えても手元に残してほしいとの思いからだ。舘さんは「約束を形にできてうれしい。お酒を通じ名馬のことを伝えていければ最高」と話す。

浪漫亭で180ミリリットル入り500円で販売。笠松競馬場でイベント開催時にも販売する。

美濃焼使用の飲食店巡って

多治見市 15日からスタンプラリー

多治見市は15日から、美濃焼の器を積極的に使用する市内の飲食店を利用してデジタルスタンプを集めるイベント「美濃焼・多治見グルメスタンプラリー」を実施する。対象の飲食店は多彩な料理を提供する約50店舗。実施期間は2023年3月15日まで。

同市では「多治見市美濃焼を使おう条例」の制定に伴い、16年度に美濃焼グルメスタンプラリーを開始した。美濃焼の良さを広くアピールするのが目的で、本年度で第6弾のイベントとなる。近年は、新型コロナ拡大の影響で経営悪化が著しい市内の飲食店支援にもつなげている。

スタンプラリーは専用アプリをダウンロードして参加する。

「美濃焼・多治見グルメスタンプラリー」の告知チラシ

対象の飲食店で店内飲食するとデジタルスタンプが提供される仕組み。異なる5店舗分のスタンプ獲得により、先着200人限定で美濃焼の名窯の器がプレゼントされる。

名窯の器は、幸兵衛窯（市之倉町）のペルシャ色絵・生命の樹フリーカップ、ペルシャ金彩ボウル、玉山窯（同）の黒織部輪花カップ&ソーサー、織部椿角皿の4種類から1種類を選ぶ。それぞれ50点を用意している。実施期間中でもプレゼントの器が無くなり次第、イベントは終了する。

対象の飲食店の詳細は専用アプリで確認できる。スタンプとの交換場所は市PRセンター（本町・陶都創造館内）。問い合わせは、市産業観光課（電話0572・22・1250）まで。（東濃）

ものづくり企業のDX支援

岐阜県が24日イベント

【岐阜】岐阜県は24日、各務原市のテクノプラザ本館4階で、「2022ぎふものづくりXDX（デジタルトランスフォーメーションフェス」を開催する。講演や取り組み事例の紹介などを行う「DXセミナー」やDX支援企業が出店する「DXミニEXPO」などものづくり企業がDXに取り組むヒントになるような情報を提供する。

DXセミナーでは、ものづくり系ユーチューバーのものづくり太郎氏による講演をメインイベントとして実施。そのほか、イマオコーポレーション（本社関市）など県内製造企業3社のDX取り組み事例紹介、生産管理システムを手掛けるテクノア（同岐阜市）の山﨑耕治社長がファシリテーターを務めるパネルディスカッションなどを行う。

DXミニEXPOでは、セイノー情報サービス（同大垣市）やインフォファーム（同岐阜市）、ソフトピアジャパンなどDXを支援する製品、サービスを持つ企業が出展する。

参加は無料。DXセミナーのみ専用ページから事前申し込みが必要。問い合わせは事務局（電話058・379・2235）まで。

地元産クリのプリン開発

サラダコスモと恵那農業高校

【東濃】発芽野菜生産販売のサラダコスモ（本社中津川市千旦林、中田智洋社長）は、県立恵那農業高校（恵那市）と共同で地元産の小粒サイズのクリを有効活用したスイーツ「栗っくりプリン」を開発した。同社が運営する本社併設の観光施設・ちこり村が中心となって開発に取り組んだ。同社は今月8日まで大丸東京店（東京都千代田区）1階で開かれている催事に出展し、同プリンを販売している。

地元では従来、秋の銘菓「栗きんとん」づくりに向かない小粒サイズのクリを畑に廃棄していた。ちこり村では、小粒サイズのクリの有効活用と地元のクリ栽培農家の収入向上を目的に「地元栗100%の栗おこわ」を商品化し、2016年から販売している。

恵那農業高校と共同開発したスイーツのプリンは、その小粒サイズのクリを有効活用した新商品。クリを甘露煮にしてダイスカットにし、そのクリにからむようにプリンをなめらかに仕上げた。さらにプリンの上には栗きんとんのムースを添えている。販売価格（税込み）は450円。

催事では、ちこり村の人気商品「栗きんとん生食パン」も販売している。担当者は「地元のクリを使った商品を首都圏で販売することで、栗きんとん発祥の地・中津川の知名度アップにつなげたい」としている。

「栗っくりプリン」のチラシ

経営よろず相談会

亀山会議所が29日

【四日市】亀山商工会議所は29日、亀山市東御幸町の亀山商工会館で「経営よろず相談会」を開く。

法律、税金、雇用・労務、融資、経営改善、資金繰りの6分野の専門家が個別対応する。時間は午後1時半から4時まで。相談は1人30分。先着順の完全予約制。申し込みは25日まで受け付ける。

問い合わせは同会議所庶業部会・中小企業相談所（電話0595・82・1331）まで。

亀山市、農業法人支援へ交付金

【四日市】亀山市は市内で農業を営む農業法人を支援するための認証制度を設けた。名称は「亀山サステナブルファーマー（KSF）認証制度」で、持続可能かつ付加価値の高い経営をしている農業法人に対し認証と交付金を交付する。1日から募集を始めた。

KSF認証制度は、生産性の高い稼げる農業を促し、事業規模の拡大や就農者増加による農業活性化につなげる狙い。交付金の対象条件はITを活用するなどして「スマート農業に取り組んでいること」や「50歳未満の従業員が5割以上であること」など10項目で採点。1法人当たり最大65万円を交付する。

問い合わせは市産業環境部農林振興課農林政策グループ（電話0595・84・5068）まで。

「みえの音たび」

県が番組配信

三重県は、県内の観光地や伝統文化の音を紹介するポッドキャスト番組「みえの音たび」を配信している。

かねや太鼓の音で「日本一やかましい祭り」と言われる桑名石取祭や、鈴鹿8時間耐久ロードレースのバイクのエンジン音を、臨場感が味わえるバイノーラル録音で収録。「観光三重」のホームページで紹介中。

県内会議所職員に支援手法など紹介

各務原会議所が研修

【岐阜】各務原商工会議所はこのほど、岐阜市の岐阜商工会議所で、県内の商工会議所職員を対象に「中小企業支援スキルアップ研修」を開催した。2005年から実施しており、今回は県内13会議所の経営支援員ら18人が参加した。

研修では、埼玉商工会議所の経営指導員である黒澤元国氏が講師を務め、支援手法や経営計画書の策定などについて事例を紹介しながら解説。

黒澤氏は「会議所の支援は質と量の両方が求められている。事業者との信頼関係の構築のためのコミュニケーション強化や組織と個人の両面から生産性を高めることが重要だ」などと語った。

そのほか、参加者のうち3人がこれまでの支援事例発表を行い、講師や参加者とディスカッションし、互いの支援手法の共有を行った。

「地域社会」に新たな価値を提供し続ける
デスティネーション・カンパニーへ

Valor Holdings

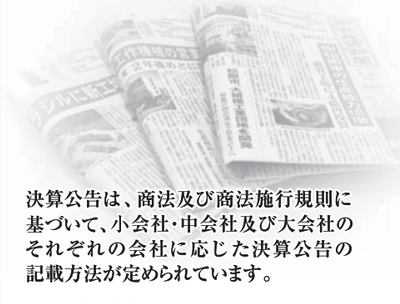
スーパーマーケット事業

ホームセンター事業

ドラッグストア事業

株式会社バローホールディングス
https://valorholdings.co.jp

ゴルフは一生のスポーツです
感謝しています。最近ゴルフ行かれましたか？ プレーしたことない方もったいないです。
一度ゴルフをしてみませんか？ お友達同士、ご夫婦で、青空の下、自然の中でたまには自分の時間を過ごしてみませんか？楽しいなあと思いましたら是非、メンバーさんになりませんか？
その時は是非ＭＫゴルフにご相談ください。
株式会社 エムケー MKゴルフ
まずはお気軽にお電話ください！！
http://www.mk-golf.co.jp
TEL 0586-44-1313
【本社】一宮市篭屋2丁目7-12（名鉄篭屋バス停前）
【名古屋オフィス】名古屋市中区錦2丁目18番5号 白川第6ビル2階 TEL052-228-2517
※中部ゴルフ会員取引協同組合会員 ※中部経済産業局認可

決算公告のおすすめ
掲載例

決算公告は、商法及び商法施行規則に基づいて、小会社・中会社及び大会社のそれぞれの会社に応じた決算公告の記載方法が定められています。
第○期決算公告
令和○年○月○日
○○市○○区○○町○○丁目○番○号
□□□□□株式会社
取締役社長 ○○ ○○
貸借対照表の要旨（令和○年○月○日現在）（単位:千円）
科目 金額
資の産部 流動資産 92,532
固定資産 7,284
負債の部合計 99,816
資産本及び部 株主資本 363,754
資本金 15,000
資本剰余金 140,368
（利益準備金） 140,368
利益剰余金 208,386
（利益準備金） 3,750
（その他利益剰余金） 204,636
純資産の部合計 363,754
合計 463,570
第○期決算公告
令和○年○月○日
○○県○○市○○区○○町○○丁目○○番地
□□□□□株式会社
取締役社長 ○○ ○○
貸借対照表の要旨（単位:千円）
資産の部 1,513,165 / 負債及び資本の部 2,899,523
流動資産 1,513,165 / 流動負債 2,899,523
固定資産 6,143,083 / 固定負債 1,415,795
有形固定資産 5,951,948 / 負債合計 4,315,318
無形固定資産 6,629 / 株主資本 3,340,930
投資その他の資産 184,506 / 利益剰余金 2,571,200
資本金 769,730
資本合計 3,340,930
資産合計 7,656,248 / 負債及び資本合計 7,656,248
（注）1. 有形固定資産の減価償却累計額 1,450,885千円
2. 1株当たりの当期純利益 126円91銭
損益計算書の要旨（自 令和○年○月○日 至 令和○年○月○日）（単位:千円）
科目 金額
営業収益 5,681,046
営業費用 5,254,028
営業利益 427,017
営業外収益 4,229
営業外費用 21,397
経常利益 409,849
税引前当期純利益 409,849
法人税、住民税及び事業税 194,430
法人税等調整額 △6,765
当期純利益 222,185
前期繰越利益 547,545
当期未処分利益 769,730
決算公告は中部経済新聞へ
お申し込み・お問い合わせは 中部経済新聞社 企画開発局 TEL.052-561-5213 FAX.052-561-5211
https://www.chukei-news.co.jp

岐阜・三重
岐阜支社
岐阜市柳ヶ瀬通1-12
岐阜中日ビル8階
TEL058(266)7576
FAX058(262)6571
東濃支局
多治見市上野町1-75
日映マンションⅢ602
TEL、FAX兼用
0572(23)7812
西濃支局
大垣市室本町2-39
竹中ビル203号
TEL、FAX兼用
0584(75)1289
三重支社
津市栄町4-255
津栄町三交ビル3階
TEL059(228)2545
FAX059(271)6311
四日市支局
四日市市中浜田町4-16
ロイヤルマンションHAMADA208号
TEL059(354)6116
FAX059(329)5333